

平成 22 年 7 月 8 日

日本技術士会 原子力・放射線部会 第 6 回総会
議事録

1. 開催日時：平成 22 年 6 月 18 日（金）14:00～15:30
2. 開催場所：日本技術士会 葺手第 2 ビル 5 階 A・B 会議室
3. 出席者：別紙参照（出席者総数：31 名、議決時出席者数：29 名）
4. 配付資料
 - ・（社）日本技術士会 原子力・放射線部会 第 6 回総会 議事次第
 - ・資料 1：原子力・放射線部会 平成 21 年度事業報告
 - ・資料 2：原子力・放射線部会 平成 22 年度事業計画
 - ・資料 3：原子力・放射線部会 平 21 年度収支決算書
 - ・資料 4：原子力・放射線部会 平成 22 年度収支予算書
 - ・平成 22 年度役員紹介
 - ・平成 21 年度事業報告及び平 22 年度事業計画（PPT 資料）
 - ・平成 21 年度収支決算書及び平 22 年度収支予算書（PPT 資料）

5. 議事内容

(1) 開会宣言

原子力・放射線部会第 6 回総会が進行役の鈴木幹事からの宣言により開会された。

(2) 来賓祝辞

来賓の日本技術士会西村常務理事から、以下のような主旨の祝辞をいただいた。

- －原子力・放射線部会は設立 6 年目を迎え、日頃活発に活動されており、敬意を表したい。
- －お陰様で日本技術士会の会員は徐々に増えつつあるが、社会の認知度はまだ低いと言わざるを得ない。これに対し、満塁ホームランという手は難しく、地道に活動していくしかない。身の回りで日本技術士会の認知度を高め、着実に存在を広めるようこれからも部会の積極的な活動をお願いしたい。事務局も努力、支援していきたい。

(3) 部会長挨拶

次に、林部会長から、平成 21 年度の原子力・放射線部会の活動の概況報告と今後に向け

での決意表明も兼ねて、以下の主旨の挨拶がなされた。

- 原子力・放射線部会は6年目を迎えることができた。この5年間で部会の基礎的なことを固めた。次の5年は、今まで以上に外に向かって活動を広げていきたい。
- 新しく10名の方に幹事をお願いし、合計37名となったので、部会の運営方法についても改善していきたい。
- 今日は、今後の5年間の部会活動についても会員の皆様のご意見を頂きたい。

(4) 総会出席者・委任状数報告

進行役の鈴木幹事から、本総会の出席者数及び事前に受領している部会員からの委任状数について以下のように報告された。

部会員数：226名

出席者数： 29名

委任状数： 101名

合計：130名

以上から、総会成立のための条件である会員数の過半数（113名以上）の出席（委任含む）が得られたため、本総会は成立する旨、鈴木幹事から報告された。

(5) 書記及び議事録署名人の選任

書記及び議事録署名人については、立候補者がいなかったため、進行役の鈴木幹事により、各々佐川幹事と高橋幹事が指名され了承された。

(6) 平成21年度事業報告及び平成22年度事業計画

桑江幹事から昨年度事業報告と今年度の事業計画について、スライド及び配布資料1～2に基づいて報告が行われ、報告後、以下のような質疑があった。

Q；制度活用報告書に関係先100ヶ所に配布したとのことであるが、その反応はどうか？

A；意見を頂くようメールアドレスを記しておいたが、まだ意見は届いていない。ただ、周りへの回覧はしてくれているようである。

Q；海外での技術士の活躍の場は出来ないのか？

A；会員へのメール及び部会HPでお知らせしたように、この1月に原子力技術者の登録・派遣を行なう「国際原子力発電技術移転機構」という組織が発足し、日本技術士会からも委員として参加している。会社を離れたシニアを対象としているが、関心ある方は登録を進めていただきたい。

Q；海外のPE制度との相互認証を進めるような動きはないのか？

A; 10年ほど前に、米国 PE 制度を普及させるため日本でも PE 試験を受けられ、広めようとした時期があった。その後、APEC エンジニア制度が動き出し、今は技術士→APEC エンジニアがメインとなっている。APEC エンジニアは多国間同等性の相互承認であり、業務免許の相互免除はさらに二国間協定が必要で、現在はオーストラリアのみである。

Q; 新規導入国に原子力プラントを売り込む場合、APCE エンジニアが活躍できるのではないか?

A; まず、国内で技術士が関わる民間第三者設計認証システムができ、機能していくようにすれば、海外へも展開できる可能性はあるのではないか。その意味でも国内の民間認証システムを早くスタートさせるよう関係機関と協力して行きたい。

これらの質疑の後に、本事業計画案は満場一致で可決された。

(7) 平成 21 年度決算報告及び平成 22 年度予算計画 (資料 3&4)

阿部幹事から、平成 21 年度決算及び平成 22 年度の予算計画案についての報告がスライド及び配布資料 3 及び 4 に基づき行われた。

21 年度から総会后等に行う懇親会行事を会計に含めたため、収入・支出とも前年より増えている、また、21 年度途中から例会の参加費を半額 (¥500) にした、との補足説明があった。その後に昨年度決算と本年度予算案について満場一致で可決された。

(8) 平成 22 年度幹事紹介

平成 22 年度から 10 名の新幹事が加わることになり、林部会長から紹介が行われた。また、10 名の幹事の再任が報告された。

以上

.....
この議事録は、議事内容に相違ないことを確認しました。

平成 22 年 7 月 14 日

議事録署名人

高橋 一智



原子力・放射線部会 第6回総会 出席者リスト(総会終了時)

No.	氏名	技術部門
	(来賓)	
1	高木 譲一	(社)日本技術士会 専務理事
	(部会員)	
1	青木照美	原子力・放射線
2	網野真樹	原子力・放射線
3	市川禎和	原子力・放射線、建設、総合技術監理
4	伊藤晴夫	原子力・放射線、電気電子
5	伊藤 裕	原子力・放射線、応用理学
6	内田剛志	原子力・放射線
7	大橋正雄	原子力・放射線、機械、総合技術監理
8	小丸 修	原子力・放射線
9	神田僚司	原子力・放射線
10	栗原良一	原子力・放射線、機械、総合技術監理
11	桑江良明	原子力・放射線、電気電子
12	金野朋博	原子力・放射線
13	斉藤 勇	原子力・放射線
14	佐川 涉	原子力・放射線、機械、総合技術監理
15	佐々木聡	原子力・放射線
16	清水武彦	原子力・放射線
17	菅原 聡	原子力・放射線、機械
18	鈴木麻純	原子力・放射線
19	園田幸夫	原子力・放射線
20	高橋一智	原子力・放射線
21	長澤克己	原子力・放射線、衛生工学
22	中野智仁	原子力・放射線、総合技術監理
23	林 克己	原子力・放射線、応用理学、総合技術監理
24	畑 孝也	原子力・放射線
25	藤本 望	原子力・放射線
26	堀内健二郎	原子力・放射線
27	横堀 仁	原子力・放射線、総合技術監理
28	川辺 陸	原子力・放射線
29	西迫 貴章	原子力・放射線、金属
30	浅野 芳裕	原子力・放射線、応用理学、総合技術監理
31	後藤 廣	原子力・放射線